

令和3年度
地域精神保健研修会

「家庭の中の暴力」

今年度は「家庭の中の暴力」をテーマとし、本学特任教授の伊藤直文が長年の心理臨床経験を元にお話しいたします。家族関係や親子関係は、子どもの心理発達に大きく影響を与えます。今回の研修会では“子どもから親への暴力”に焦点を当て、問題の背景やその対処について考えていきたいと思えます。専門職の方はもちろん、一般の方にもご参加いただけます。当日は一緒に学びを深めることができれば幸いです。

【主催】 大正大学カウンセリング研究所

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1

TEL.03(5394)3035 FAX.03(5394)3041

URL : http://www.tais.ac.jp/library_lab/counseling/

【後援】 豊島区

◆講師紹介

伊藤 直文（本学心理社会学部特任教授）

大正大学心理社会学部臨床心理学科特任教授、臨床心理士、公認心理師。日本犯罪心理学会理事、日本公認心理師協会理事、NPO法人T&E企画理事。

1978年、立教大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程修了。1978年、浦和家庭裁判所家庭裁判所調査官補、1982年、同調査官。

1994年、大正大学人間学部人間福祉学科臨床心理学専攻専任講師、2003年より教授、2009年～2010年、2013年～2021年まで大正大学カウンセリング研究所所長を兼任。

著訳書に、「異常心理学」（共訳 1998 誠信書房）、「十代の心理臨床実践ガイド」（共訳 2001 ドメス出版）、「よくわかる臨床心理学」（共著 2003 ミネルヴァ書房）、「家族の変容とこころ」（共編著 2006 新曜社）、「こころに気づく」（共編著 2007 日本評論社）、「臨床家が知っておきたい子どもの精神科」（共著 2010 医学書院）、心理臨床講義（編著 2015 金剛出版）等がある。

●日時：令和3年12月3日(金) 18:30～20:30

●講師：伊藤 直文（本学心理社会学部特任教授）

●概要： 他人同士の暴力と親密な関係にある家族の間に起きる暴力では、性質は大きく異なる。家族間の暴力では、根底に満たされない愛情欲求が存在することがほとんどで、長い時間の経過を経て問題は錯綜し、対処が困難になっている。

ここでは、攻撃性や暴力に関する知見を概観した上で、心理臨床の立場から、子どもから親への暴力（いわゆる家庭内暴力）事例を中心に、家庭の中の暴力の特徴と意味、対処法などを考えていきたい。

●開催形式：ZOOMによるオンライン開催

*ZOOMのURL、ミーティングID、パスコードはお申込み後にお知らせします。

●参加費：無料

●定員：60名程度

<申し込み方法>

参加申込みは、下記申込みフォームより受け付けております（大正大学カウンセリング研究所のHP【Information】からもお申込みいただけます）。



<https://forms.gle/6N9yz78z6VYaJGSq6>

申込締切：11月8日(月)

※定員に達し次第、受付を終了させていただきます。

- *後日、申込みフォームでお知らせいただいたメールアドレス宛に、当日ご利用いただく ZOOM 情報をお送りいたします。
- *お申込の際にいただいた個人情報は厳正に取り扱い、地域精神保健研修会の目的以外には使用いたしません。

問い合わせ先：大正大学カウンセリング研究所

研修会担当 近藤、西牧、黒田、旭

TEL. 03-5394-3035 FAX. 03-5394-3041

E-mail: cou-moushikomi@mail.tais.ac.jp

